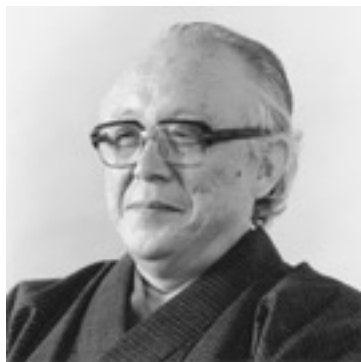




これは世につたえておきたい
かたっておきたい
わが胸の底から真実のおもい
人生幾山河のめぐりあい
あの日の風やひかり そして空のひとひら
哀歎のかがり火に生きた幾年月の路
「自分史図書館」は その証言館です。

伝記作家小島直記先生偲ぶ会を前に

自分史図書館長 椎 窓 猛



去る年の秋九月十四日
ご逝去の小島直記先生の
一周忌を迎えることになり
ます。そこで八女公園
に先生を記念する文学
“志”の碑建立委員会の
有志集い、只今、偲ぶ会
を企画しています。

先生の著書は人物伝記、自伝、他伝、多彩に採りあげられ、適切、妥当な、そして先生らしい諧謔味をまぶして描きあげられています。

そこで、先生は全著作に如何なる人物を選択し、採りあげられているのか、リストを作ってみるのも、先生の伝記文学案内ともなるのではないかと考えました。

No.1～として、「日本ざらりーまん外史」から、人物を挙げてみることにしました。

先生には「人間・出会いの研究」と題された一冊もありますが、「人間らしさ」を持っているかを常に本物と偽物を見分ける視点にされているようです。

(・これは昭和39年(1964)から4年間、日経新聞に連載されたもの)

小島直記伝記文学に登場の主要人物

○伝記文学全集 第3巻 日本ざらりーまん外史 No.1

坂本竜馬 ※海援隊	・転身あざやかな近代人、日本サラリーマンの大先輩 「世に生を得るは事をなすにあり」32歳の命
小栗忠順 ただ まさ	・日仏合併会社のプランナー、明治政府より斬首される。
岩崎弥太郎	・幕末を飲み明かした“社用ぶり”運がよかった男 ※三菱財閥
渋沢栄一	・外国旅行で眼を開く、フランス万国博へ会計係として参加 ※国立銀行総監役
広瀬幸平	・外人を雇った先見の明 ※別子銅山目論見 →ルイ・ラロック ・住友財閥を作る基をなした
益田孝	・騎兵隊長から横浜商人へ ※日経新聞の原型をつくる
福沢諭吉	・人材養成の大先達 ※四百両で校舎を建て慶応義塾を設立
荘田平五郎	・三菱で名をあげたスペシャリスト ※志は高くも、しかし食うためには適当にもらっつけ ・大分県臼杵の出身
山本条太郎	・学歴無用論者 ※人材登用の三井物産
田口卯吉	・必殺のペンの力～東洋経済雑誌 ※経済学研究
犬養毅	・博学な御用記者 ※岩崎弥太郎がスポンサー ※政党政治の腐敗を怒る青年士官に射殺される
古島一雄	・無私一念の言論人 ・日本新聞の記者 「古一念」と号した

◎伝記文学に登場の人物を眺めると、小島文学の人物評定がうかがわれる。以降つづきます。

受贈図書紹介 ㊟

順次紹介していますが受贈日より多少遅れます。
あしからずご了承下さい。

福岡の薬草手帖 …………… 福岡市薬剤師会
定年ブルドッグ …………… 八女川 瀬 東京都
歌集あめんぼう …………… 日刈 琢史 みやま市
歌集 鯛雲 …………… 立花 進 徳島市

柳川の殿さんとよばれて …………… 立花 和雄 柳川市
筑後川 …………… 河合 楽器
鶏 肋 …………… 大鶴嘉晴・恵美子 筑後市
いびつな器 …………… 久重 忠夫 川崎市
知恵と正義と友情の …………… 東大八B会
花は一色にあらず …………… 山田 義雄 宝塚市



○ 遙かなる絆
九歳の少年が命懸けて
越えた三十八度線
朝永 清之

「貴図書館の所在を知りましてから、是非一度お邪魔したいと思っていましたこと、おかげで果すことができました」朝永さんは、昭和20年8月15日の終戦を、北朝鮮の咸鏡南道興南の町で迎え、引揚げの日に至るまでの苦労を一冊にまとめあげられていられる方である。現在、佐世保にお住まいだが、自分史図書館を訪ねられ、お礼状をしたためてのご寄贈本。本には「鶴の子だより」と題のプリントが入れられているが、北朝鮮引揚げの友への呼びかけ通信と伺われた。標題どおり、九歳の少年の涙と汗が行間に滲みでている。



○ 黄砂ふる街
森 真吾
(海鳥社刊)

著者森真吾氏は、福岡動植物園長さんとして知られた方であった。純粋、博多っ子らしい内容のエッセー集である。「黄砂ふる街」と題されたのは、有史以前から、東アジア大陸から決まって春を告げる使者、黄砂の舞う博多湾に由来されたようである。
黄砂ふる街倭人伝の昔から振り返る君も大正や猫背ところで森さんは「博多っ子」と呼ばれるのは嫌だと述べられている。「博多ンもん」と言うべきだと主張されている。
そして関ヶ原以西の雑煮餅は丸いことをよく知られていないなどと興味深く、博多ンもの気質を発揮されている。



○ 昭和ひと桁走り書き
堺 孝幸

堺先生は表題どおり昭和5年の昭和ひと桁世代。大牟田の中学校教育に文字どおり走りぬかれた先生。アゴタン先生にはならない、常に体を張った教育実践を志されその貫徹の足跡記録として読みとられる。
遅刻者の多い学校、喫煙、買い食い、万引き、校内暴力、非行問題が絶えまない中学校に赴任。教師一丸となった生徒指導計画、その実践に、まず晴雨にかかわらず運動場20周(約6キロ)を先頭に立って走った。汗を流し苦しさにも耐える経験から、生徒たちは変容してゆく。教師に夢とロマンを持たせ教育指導に当らせる校長の抱負。まさに、教育街道を走りぬかれた一代記である。



○ J C I
八女青年会議所
創立50周年記念誌

東健一郎記念大会実行委員長のお礼のことばに「歴史は努力して残さなければ風化し忘れ去られます。」とある。真実一読左様ですと共感。八女の地において、若きエネルギーを結集、地域の文化、経済の振興に尽力の足跡がこの一冊からうかがわれる。歴代理事長のメッセージを読み進めると、1960年、昭和35年からの活動の推移がよくたどられる。私(椎窓猛)が村教育長時代には、ヤングフォーラム、僕らのまちづくり憲章発表会など、未来を担う青少年の奮起を促す活動に主力をそそがれ、共に支援協力した日などもなつかしく思い出された。

編集掌記

▼『遙かなる絆』の朝永清之さんは、「自分史図書館」の存在を知り、去る6月18日、佐世保から訪ねられてい

る。東さんの懇切な案内でよるこんで帰られ、その訪問記を「鶴の会だより」に記されている。朝永さんは北朝鮮からの引揚げ者で、引揚げ手記などを出版された方々に呼びかけられているようである。朝永さんはあとがきに、二首の和歌を書きつけられている。

“我が生の勲章なりけりおぞましき戦後の異国の辛苦の体験”“終戦後の辛苦を思へば耐え得ざることなどなきと自戒しつつ来つ”▼7月11日。

北九州市大谷会館での暮安翠さんの火野葦平評伝『青狐の賦』出版記念会に招待され、一

自分史図書館

入館無料
開館 毎週水曜日
午前10時～午後3時
年末年始、お盆、祝祭日は休館
貸し出しはしていません。

〒833-0032 筑後市野町423-8 TEL・FAX 0942-53-8122
西鉄バス野町停留所より徒歩5分
インターネットでもご覧になれます。http://www.jibunshitosyokan

席スピーチ。私の隣席に、北九州市立文学館今川英子副館長さん。北九州市は「自分史文学賞」を1990年より実施している。我々は“黄檫”の会を基盤に自分史図書館をささやかながらも運営してきたが、何らかのかたちで、連携を共にしたらと、副館長さんと知りあった縁で考える。
(自分史図書館長 椎窓猛)